

最優秀団体賞 スピードスケート部

2019年度に国内外の大会で優秀な成績を収めた部や選手を顕彰する第59回体育会表彰式に11団体、123人(重複含む)が選ばれた。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、表彰式・祝賀会は中止。学位記の授与が行われた3月22日、生田キャンパスで個人賞を受賞した4年次生19人に上田和男体育部長から賞状が手渡された。

最優秀団体賞は日本学生水上競技選手権のスピードスケート競技を3年ぶりに制し、大学日本一に返り咲いたスピードスケート部が受賞した。

主将としてチームを支えた嶋田英爾(経営4・白樺学園高)は「最優秀団体賞に選ばれてとてもうれしい。大学日本一は全員が考えて競技に取り組み、チーム一丸となって掴み取ったもの。その姿勢を崩さず、来年も優勝してほしい」と話した。(八代哲・経済3)

最優秀団体賞は日本学生水上競技選手権のスピードスケート競技を3年ぶりに制し、大学日本一に返り咲いたスピードスケート部が受賞した。

主将としてチームを支えた嶋田英爾(経営4・白樺学園高)は「最優秀団体賞に選ばれてとてもうれしい。大学日本一は全員が考えて競技に取り組み、チーム一丸となって掴み取ったもの。その姿勢を崩さず、来年も優勝してほしい」と話した。(八代哲・経済3)

第59回体育会表彰 受賞者

★は新人賞、●は校友会学生奨励賞の受賞者

【最優秀団体賞・校友会賞】
▽スピードスケート部●

【優秀団体賞】
▽水泳部(水球)
▽卓球部(男子)
▽馬術部
▽バスケットボール部(男子)

▽フencing部(男子)
▽ローラースケート部

▽木村吉大(スキー)▽嶋田英爾▽石川斗来▽岩佐理央▽堀川翼★▽森

【最優秀選手賞・校友会賞】
▽及川瑞基●(卓球)

【優秀新人賞・優秀選手賞・校友会賞】
▽成田琉夏●(フencing)

【優秀選手賞】
▽木村吉大(スキー)▽嶋田英爾▽石川斗来▽岩佐理央▽堀川翼★▽森

▽渡邊琴絵▽岸洲沙里▽高秋嬉ら●(以上ローラースケート)

【最優秀選手賞・校友会賞】
重航★(以上スピードスケート)▽三部航平●▽木村香純●(以上卓球)

【優秀新人賞・優秀選手賞・校友会賞】
▽近藤舞宝●(馬術)▽西野曜(バスケットボール)▽園田嶺太●▽齋藤

恵司(以上フencing)▽前田明都(レスリング)▽植木晃太郎▽根

本剛志▽稲山湧也▽小川晃平▽中尾華▽小山絢子

【最優秀選手賞・校友会賞】
▽大倉秀太(アーチェリー)▽高橋丈▽大久保泰

志(以上カヌー)▽上原卓巳▽落合すみれ(以上水泳・競泳)▽市村朋也

太郎▽中島夕和▽外谷涼太(以上スキー)▽高見

澤光希▽堀川大地▽山口遼(以上スピードスケート)▽枝松亜実(卓球)

【最優秀選手賞・校友会賞】
▽井佐あかり▽鈴木良明

▽西野翔▽丹治翔(以上馬術)▽アア・フィリップ

▽盛實海翔(以上バスケットボール)▽坂井真

子(フencing)▽中村剛士▽松雪泰成▽藤波

諒太郎▽庄司樹▽中村拓

磨▽荒木大貴▽佐々木虎

次郎▽金子功誠▽丸目哲

郎▽吉永信太郎▽岡本景

▽武内公佑(以上準硬式

野球)▽青山直輝(水泳

・水球)▽吉田海斗▽星

翔太▽上村太陽▽大島奈々▽永道麻依加

▽藤川英雄氏(卓球部女子監督)

▽高橋秀一氏(バドミントン部女子監督)

▽戸嶋太一(体育会本部

委員長)▽アメリカンフットボール▽鈴木杏奈(同

▽原颯也(剣道)▽古川耕

平(射撃)▽今野利哉(ヨ

ット)▽関原駿平(ラグビー

▽中尾華(ローラースケート)▽中村直記(卓球)▽井佐あかり(馬術)

【特別賞(体育会OB・OG会賞)】
▽前嶋孝氏(スピードスケート部監督)

▽山本真凛(経営2)写真

【功労賞】
▽蔭山雅博氏(カヌー部

トボール)▽鈴木杏奈(同



3月22日の体育会表彰式に出席した4年次生ら。前列右から2人目がスピードスケート部の嶋田主将

最優秀選手賞 卓球 及川瑞基

最優秀選手賞には及川選手の中では9番手となる瑞基(商4・青森山田)が選ばれた。最新のワールドランキングは日本人持つ及川。2019年は、全日本卓球選手権で30回目の優勝に大きく貢献するなど、団体戦でも存在感を発揮。充実のシーズンを送った。

受賞を受けて及川は「大学4年間努力してきた。その結果こうして素晴らしい賞を受賞することができてとてもうれしく思います」とコメント。卒業後については「卓球一本でプロとして活動していくので、今まで以上に気を引き締めて責任を持ってやっていきたい」と抱負を語った。(池村友輔・文2)



400級自由形で鈴木希(経営1・淑徳巣鴨)が4分12秒83(2位)、200級平泳ぎで清水優希(文1・藤村女子高)が2分26秒80(2位)を記録し、ジャパンオープンの標準記録を突破。6月に行われる同大会の切符を手にした。専大からは多くの選手が決勝に進出し、自己ベストを更新した。鈴木は「ベストから程遠いタイムで満足してはいないが、標準記録を切ることができて安心した」と語る。一方、清水は自己ベストを出したことで自信を深め、「次もタイムの更新を目指す」と語った。

期待の1年次生2人が今後どのような進化を遂げていくのか、期待したい。(馬場夏実・経営2)

最優秀新人賞 フェンシング 成田琉夏

最優秀新人賞はフェンシング部の成田琉夏(文高)が受賞した。「さまざまなカテゴリーで多くの試合に出場し、経験を積むことができた」と話す成田。U23アジア選手権の女子エペで優勝すると、2週間後に行われた全日本学生選手権の女子エペを制し、学生女王の座を勝ち取った。その後は日本代表としてワールドカップに参加するなど活躍の舞台を広げている。

一賞をいただくことができてうれしいが、応援してくれる多くの人の支えがあったことと周囲への感謝を語り、「世界で通用する選手になれるように、今後も真摯にフェンシングに取り組んでいく」と話した。



那司侑弥(サッカー)▽部長
林虹希(柔道)▽五千部部長
嵐健▽上野滉平▽岡本元部部長
希▽中谷功大▽須永隼人▽近江吉明氏(射撃部部長)

リーダーシップ 組織づくり学ぶ



岩出氏の講演を聞く体育会各部の主将たち

体育会各部の主将と主務が一堂に会し、リーダーシップについて学び、部の垣根を越えて交流を深める第56回リーダーシップカンファ(体育会本部主催)が2月25・26日の2日間に行われて、静岡県伊東市で行われた。初日は帝京大学ラグビー部監督の岩出雅之氏が「個を活かす組織づくり」をテーマに講演し、

参加者たちは真剣に耳を傾けた。その後はグループワークが行われ、各部の課題や目標などについて活発に意見を交わした。参加した学生たちはリーダーの在り方やチームづくりについて理解を深め、充実した2日間を過ごした。

【特別賞(体育会OB・OG会賞)】
▽前嶋孝氏(スピードスケート部監督)

【功労賞】
▽蔭山雅博氏(カヌー部